

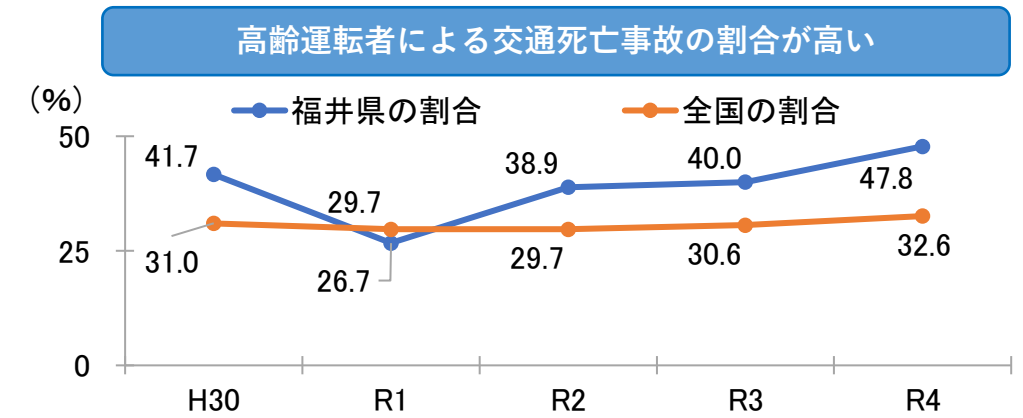
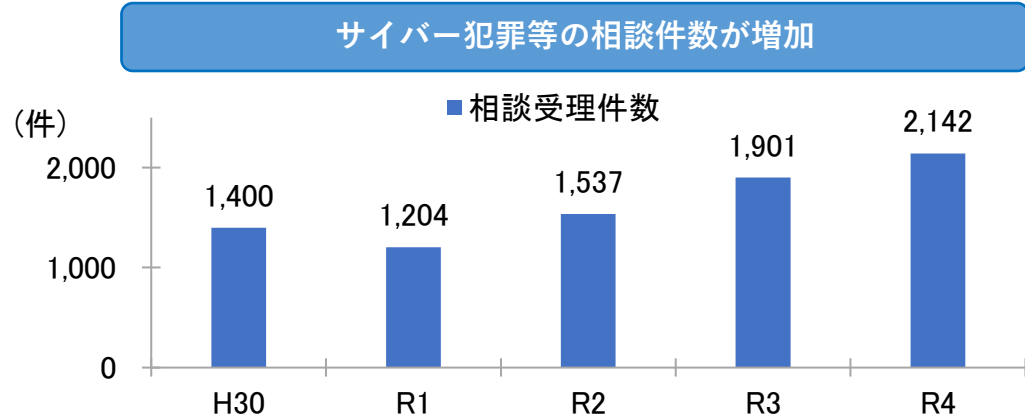
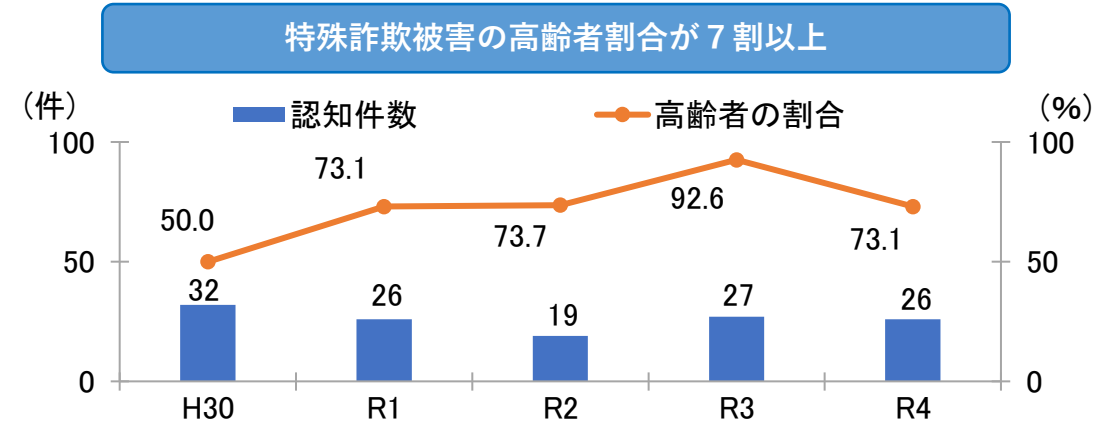
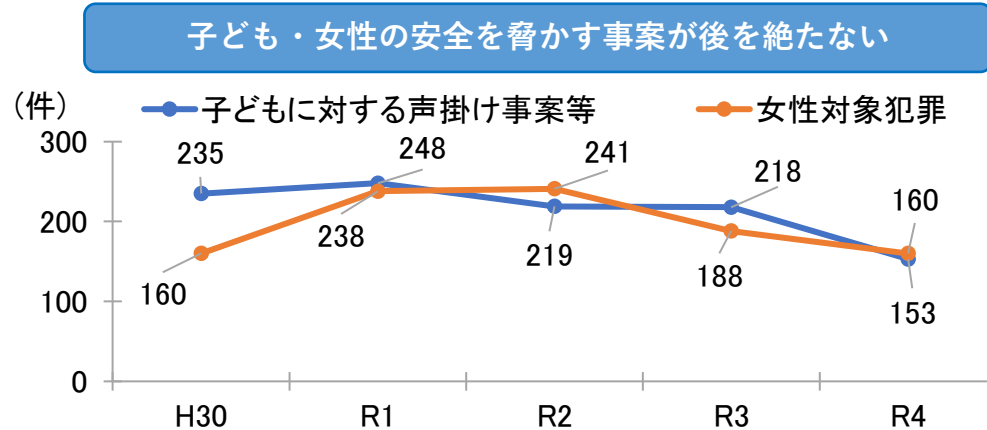
1 安全・安心ふくいプログラム(2023-2024)の策定について

現状

- ・ 刑法犯認知件数は戦後最少を更新(令和4年2,664件)
- ・ 検挙率は高水準を維持(令和4年67.5%、全国第5位)

⇒ 県内の治安は良好に推移

課題



北陸新幹線福井・敦賀間開業等に伴う交流人口や物流の増加など環境の変化

数値目標

- ・ 重要犯罪の検挙率100パーセント
- ・ 年間交通事故死者数20人以下

1 安全・安心ふくいプログラム(2023-2024)の策定について

県の主な取組

子ども、女性、高齢者を犯罪から守る対策

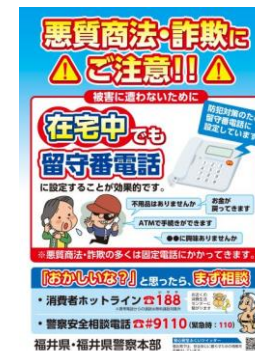
- ・声掛け事案 見守り活動の推進
- ・児童虐待 一時保護等での安全安心な場所の提供
- ・DV等被害 相談しやすい環境の整備
- ・特殊詐欺 ケアマネジャー、スーパー、薬局等と連携した注意喚起

犯罪の起きにくい社会づくり

- ・地域の自主防犯力向上のための防犯カメラ等の防犯インフラ整備の支援

交通事故から県民を守る対策

- ・ドライバー 横断歩道での歩行者優先意識の徹底
安全運転サポート車購入や安全装置の後付けの支援
- ・歩行者 交通安全教育の充実化と反射材の着用促進
- ・道路環境整備 センターラインや外側線の塗り替え、防草対策を集中的に実施



1 安全・安心ふくいプログラム(2023-2024)の策定について

警察の主な取組

子ども、女性、高齢者を守る対策

旧プログラムの結果	県民意識調査の結果	新プログラムの取組
<ul style="list-style-type: none">子どもに対する声掛け事案は依然発生女性が被害者となる犯罪は高止まり特殊詐欺被害の高齢者の割合は7割以上	<ul style="list-style-type: none">子どもの連れ去りや声掛け事案、特殊詐欺に対する不安パトロールや情報提供などの要望	<ul style="list-style-type: none">関係機関と連携した見守り活動等の拡大女性の防犯力向上に資する情報提供等コールセンターによる特殊詐欺被害防止広報

犯罪の起きにくい社会づくり

旧プログラムの結果	県民意識調査の結果	新プログラムの取組
<ul style="list-style-type: none">刑法犯認知件数は、戦後最少を更新民間企業から自治会への防犯カメラ寄贈など、気運の高まり	<ul style="list-style-type: none">見守り活動への参加が微増防犯カメラの設置・拡充や警察官のパトロール強化などの要望	<ul style="list-style-type: none">防犯カメラの設置・運用に関する助言・指導「県警アプリ」による防犯情報の提供、自主防犯活動の活性化

1 安全・安心ふくいプログラム(2023-2024)の策定について

警察の主な取組

交通事故から県民を守る対策

旧プログラムの結果	県民意識調査の結果	新プログラムの取組
<ul style="list-style-type: none">交通事故死者数は、減少傾向（R3年の26人は戦後最少）人口当たりの交通事故死者数は全国ワースト水準	<ul style="list-style-type: none">悪質・危険な交通違反に対する不安ドライブレコーダー等の普及促進、交通指導取締強化などの要望	<ul style="list-style-type: none">自動運転技能評価システム等のデジタル交通安全教育運転者、自転車利用者、歩行者ごとの交通安全対策

サイバー犯罪から県民を守る対策

旧プログラムの結果	県民意識調査の結果	新プログラムの取組
<ul style="list-style-type: none">サイバー犯罪等に関する相談件数は増加傾向不正アクセスやネットワーク利用犯罪の検挙	<ul style="list-style-type: none">違法・有害情報の削除要請や手口情報の提供などの要望サイバーテロ対策への期待	<ul style="list-style-type: none">ボランティアと連携した若年層への広報啓発重要インフラ事業者等と連携したサイバー攻撃対処訓練